



# 善正寺だより

〒:512-0902  
 三重県四日市市  
 小杉町1014  
 浄土真宗  
 本願寺派  
 善正寺  
 ☎:0593-31-1670  
 ☎:0593-32-0733

## 掲示板法話

### 縁ありて 花開く

### 恩ありて 実を結ぶ

今年も花の季節が巡ってきました。年初来、過激派組織(通称イスラム国)の野蛮なテロ、殺害事件や若者の凶悪犯罪が頻発しました。だから一層、温かな春の訪れを待つ心ひとしおです。どなたの詩か知らず、申し訳ないのですが、次のような詩があります。



ぬオンリーワン(唯一)の尊いのち(天上天下唯我独尊) だとうなずき、拝み合わずにおれぬ、お互い様なのだ と気づかされます。

ところが現実には、科学技術が凶器に変わり、情報通信技術(たとえば、ラインという通信アプリ)が子供たちの命を奪う手段に使われる世界になり、見えない恐怖と不安の世界です。しかし親鸞さまは「罪障功德の体となる氷と水のごとくにて 氷多きに水多し、障り多きに徳多し」(高僧和讃・曇鸞讚)と詠まれました。ここに我々凡夫の救われる世界があります。

「咲いた花見て喜ぶときは 咲かせた根っここの恩を知れ」

根っここの恩を知らされる世界こそ、お釈迦様のお覚りになった仏法の真理です。数限りなき「ご恩のお蔭で出逢った「いのち」と「いのち」の世界が、「あなた」と「私」の「今、この「縁」なのだ。そう思つと」ただなら

由に生きる。弱い人のことを忘れるな。それが貧乏な父からもらった僕の宝物です」と言われた。まさに、「氷多きに水多し。障り多きに徳多し」です。氷を溶かす力が父の涙であり、大いなる声が聞こえた陰の力の働きです。「ご恩を」ご恩と感受され、実を結ぶまでに、長く、深いお慈悲の温もりが働いている。

## 写真アラカルト



## ☆行事ご案内☆

### ◆4月の門信徒会例会

### 4月19日(日)午後7時半より

5月31日(日)の午前総会、午後公開法座への準備、  
 新旧行事さん必ずお集まり下さい!  
 新行事長(門信徒会会長)、新会計の役割分担を決めます  
 ◇親鸞聖人七五〇回大遠忌法要計画素案について

◇キッズサンガ 4/11(土)午後4時より、都合で第2土曜日。鐘つきは毎夕5時、年中無休、お友達を誘って来てね

◇三重組コーラス西勝寺様で 日程は未定、決まり次第連絡  
 善正寺ホームページ「三重 善正寺」で検索。1年分の寺報が閲覧。毎日更新のブログ「住職と坊守のつれづれ日記」が大好評。寺の日常を公開、開設6年8か月で16万9千訪問、一日平均100程、コメント、悩み相談、大歓迎!即返信します。

◇『一縁会テレホン法話』059・354・1454へ電話  
 3/23より若院、3/30より住職、4/20より坊守の法話が、夫々一週間流れます。3分間で聞ける法話です。

- ※親鸞聖人750回大遠忌法要、平成28年5月15日(日)午後  
 ご法要までいよいよ1年1か月、皆様のご協力よろしく!
- ◇お稚児さん募集開始!参加費5千円、詳細お申込みは寺まで  
 生涯のよき思い出、仏縁です。お誘い合わせてご参加下さい!
- ◇三全仏教婦人会総会:3月20日(金)夜7時、善正寺で
- ◇三全仏婦、初参式&降誕会:4月18日(土)午後 光念寺様で
- ◇新納骨堂:後継者のない方、お墓でお困りの方ご相談下さい



# 坊守スケッチ

## 鐘の音が届いた



ある老人施設の慰問で『夕焼け小焼け』を演奏した時のことだった。

「これは長野の善光寺の夕焼けです。阿弥陀堂からは夕暮れの鐘の音が、ゴオン、ゴオン(御恩、御恩)と響き渡ります」と説明して歌った。

一人の老女が両手を高く上げて拍手をしてくれた。様々な苦勞を乗り越えて自分の半生を、この歌に重ね合わせて歌ったらしい。聞けば、老女は若い頃から毎日お仏飯をお供えして、経を読むのが日課。またお寺で法座がある時には欠かさずお参りした。だから余計に心に届くものがあつたのだろうか？

先日メールで鐘を撞く時刻のお尋ねがあつた。

「老母がその時間になると、縁側に出て耳を澄ませて聞いています」。

後日家人と初めて寺を訪問された。本堂に参拝されるようにお誘いして、詳しいお話を伺った。

「25年前、朝元気で出勤した娘婿が、突然死。その二か月後に男の孫が誕生しました。私達祖父母は孫を育てるために献身的に協力しました。その間私達も交通事故や病気を経験しました。この度やっと孫が大学院を卒業して無事就職が決まりました。すると不思議なこと、遠くからお寺の鐘の音が聞こえてきたのです。そこで娘にこの寺を探し当ててもらいました。これからはお

寺の法座にもお参りさせて頂きます」

ああ何と有難いこと！寺に嫁いで41年。朝夕2回鐘を撞き続けてこんな嬉しい縁を頂いたのは初めてのことだった。

少し離れた新興住宅地に住むその方に、やっと鐘の音が届いた。御苦勞の末にたどり着いた心安らかな日々。

どんなに近くに住んでいても、聞く気が無ければ聞けないのと同じ。縁が整ってやっと仏法を聞く身にさせて頂く不思議さ！仏様のお慈悲は鐘の音と同じように、私の事情如何に関わらず、この私をいつも温かく包んでいて下さる。苦勞の多い人生で、それに気づくかど

うかが問われる。



「何があっても大丈夫！」と、鐘の音は今日も優しく私を励ましてくれる。

☆坊守の素敵な人に出会った！

来し方も 又ゆく方も 今日の日も われは知らねど み運びのまま (藤原正遠)

京都の研修会で出会った福井の坊守さんから教えて頂いた歌です。過疎地の寺で地域の人々に生きがいを与えようと演劇集団を立ち上げ活動をす

### ☆若院夫婦の『育自な毎日』その6

春の訪れがようやく感じられる今日この頃、三月三日は桃の節句でした。女の子の健康と幸せを願ってお雛様を飾ります。我が家の長女も初節句。長女のお雛様を玄関に飾りつけると、そこは一気に華やかな空間に変身！毎日美しいお雛様を眺められ、母親の私の方がウキウキ気分です。

私の実家にあつたお雛様は母の嫁入り道具の一つでした。五段飾りで幼い頃は桃の節句の前になると、母方の祖父がいそいそとやってきて、金槌と釘で組み立ててくれました。もちろん三月三日が過ぎればまた解体しにやってきました。最近のお飾りはパタパタと折り畳んで収納できるのでずいぶん便利になりました。来年お雛様をお飾りする頃、長女は一歳三ヶ月でよちよち歩きでしょうか？成長を実感する節目になることでしょうか。

勿論長男の端午の節句も同様です。そう言えば、お祝いのちらし寿司を一番喜んでほおばっていたのは長男でした。いつの時代も子供の成長を願う親の気持ちは変わりませんね。(J&Y)



お雛見さん大募集!

平成28年5月15日親鸞聖人750回法要(1年1か月後)の御雛見さん大募集中!参加費5千円。

### 寄稿

坂田妙子(呉市)

☆我が身体 頼まなくても 生かそうと 働き続け 休むことなく 上田ひろ子(姫路)

☆姉妹の 喧嘩終了 母の許

もの言う前に 念仏したら

カンプアありがとう 鈴木登代子様、匿名様よりお志、切手等を頂戴しました。

### ホットニュース

☆一縁会テレホン法話。二月下旬自坊で集まりがありました。善正寺から3人(若院、住職、坊守)が吹き込みに参加。法話が流れる日程は以下の通り。

※若院 (3/23、3/29)

※住職 (3/30、4/5)

※坊守 (4/20、4/26)

是非一度 059-354-145

4)お電話下さい。一週間交替の講師で、三分間の法話が聞けます。

### ☆ 編集子より ☆

「善正寺だより」256号をお届けします。◇寒かった冬と寒々とした事件が続きました。◇文明の衝突とか格差が問題と言うがそれだけなのか？◇先月号で御紹介の前川さんを詠んだ歌「泥より出でし真白き花よ 人も花と語りかけて 命の運命のままに光の中で花開く・・・泥より出でし真白き花よ 今が盛りと微笑んで あなたの歩んだ道は 弥陀の光に包まれる」(新屋まり「白蓮」)。同朋のサングァでこそ命の花開くのだ、と思う。



春は別れと出会いの季節です。生まれている間に誰と出会い、誰と  
で人生が決まります。あなたはどんな出会いを望みますか？最近  
はネットの普及で見えない相手とも出会っていかねければなりません。  
親も知らない相手と子供が出会い、恐ろしい犯罪に巻き込ま  
れる事件が頻発。親はわが子のSNSサインを見逃してはいけ  
ません。仕事忙しいからとか、自由放任主義だからというのはいけ  
ない。子供から目を離してはいけません。学校だけにお任せするので  
はなく、家庭でも見守る責任と義務があります。私はひとへ  
ドラマ「花燃ゆ」の吉田松陰の母、滝の人柄を尊敬します。  
松陰が牢獄生活の期間も息子を信じ、子供達にはせわあな  
い(大丈夫)と言って励まします。母親の芯の強さと明るさが家  
族を救いました。滝は当時としては珍しかった入浴の習慣を  
家族に付ました。水汲み、薪割り、風呂焚きまで重労働でした。  
子供らに手伝わせました。暮らしては貧しいが心まで貧しくな  
てはいけない。温かい湯に浸れば心も温まり明日への意欲も湧  
く」というのが、母滝の持論。松陰の辞世の歌「親思う心に  
勝る親心 今日訪れ何と聞くらん、無念の死を遂げる  
場面でも、子供に母の親心がしつかりと受け継がれています。  
私達も親から子へと確かな願いを伝えたいものです。それ  
には仏事を勤めることがいい機会ではあります。先づ、ご先祖  
からの縦の絆と、親戚やご近所との横の絆の再確認が  
できます。私の代でもしつかりと両方の絆をつないでいきま  
しょう。一年一ヶ月後にせまうた100回大遠忌法要の権見を  
募集集中です。皆様の協力もろくお願ひ申し上げます  
平成二十七年 四月 合掌 善正寺坊守輝